

**中野市**

**産業振興施設個別施設計画**

**(令和8年度～令和17年度)**

令和8年3月 策定

長野県中野市

# 目次

<b>第1章 個別施設計画策定の目的と計画期間</b>	
1 計画策定の目的	1
2 計画期間	1
<b>第2章 個別施設計画を取り巻く現状と課題</b>	
1 市有施設の状況	2
2 対象施設	2
3 施設の管理運営に掛かる経費及び利用状況	3
4 基本的な方針	5
5 「今後の方針」について	5
<b>第3章 対策の優先度の考え方</b>	
1 対策の優先度の考え方	6
2 対策の実施方法	7
<b>第4章 対策内容と実施時期</b>	
1 対策内容の考え方	7
2 対策の優先度	8
3 対策費用	8

# 第1章 個別施設計画策定の目的と計画期間

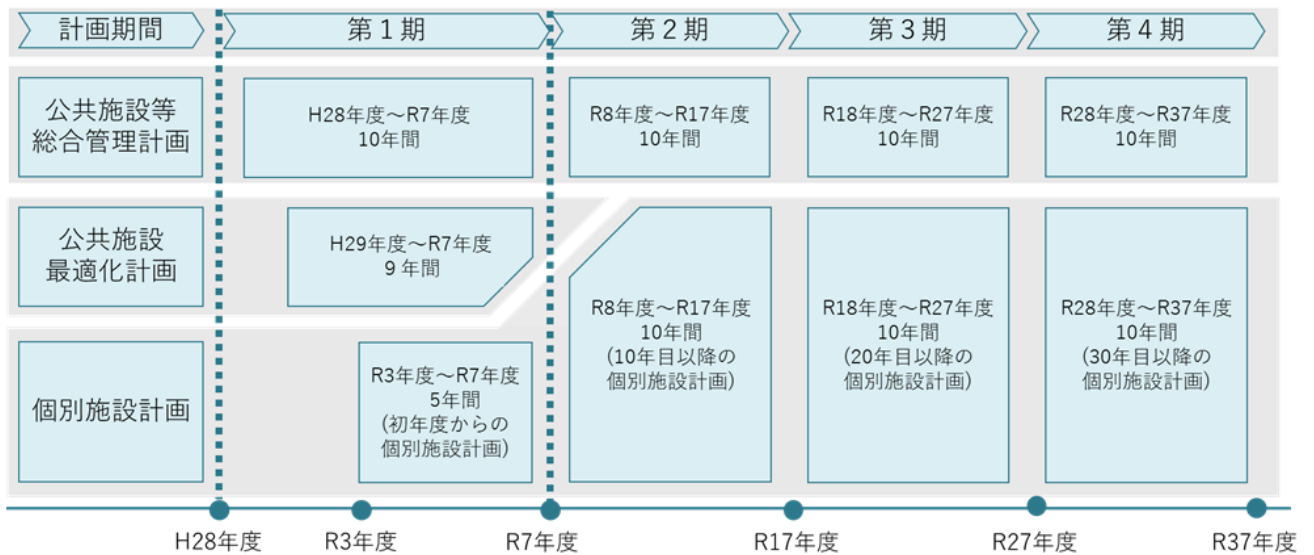
## 1 計画策定の目的

本計画は、「中野市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）の目的を実現するために、施設ごとに今後の具体的な対応方針を定めるものです。

## 2 計画期間

本計画の計画期間は、上位計画である総合管理計画の計画終了年度とあわせ令和8年度から令和17年度までとします。

また、公共施設の計画的な施設管理には長期的に取り組む必要があることから、第1～4期に分け、第2期以降、10年ごとに個別施設計画の見直しを行います。（既存計画等に従い進めるものは、この限りではありません。）



## 第2章 個別施設計画を取り巻く現状と課題

### 1 市有施設の状況

令和7年4月1日現在で本市が保有する公共施設は 259施設、452棟、延床面積（総量）は 185,403.88㎡となります。最も広いのは学校教育系施設で 76,746.98㎡（41.4%）、次いで子育て支援施設で 16,854.97㎡（9.1%）市営住宅で 16,202.09㎡（8.7%）になります。

公共施設の多くは、昭和40年代から平成にかけて建設されました。築50年以上を経過する建物も90棟あり、生産年齢人口が減少する中、全ての建物を更新することは難しい状況です。

### 2 対象施設

本計画で対象とする施設は、大分類「産業振興施設」を対象とし、施設類型ごとに記述します。

施設の状況については、現地における目視等で点検した当該施設の劣化状況について示しています。

状態	内 容
A	概ね良好
B	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上・機能上の低下の兆しが見られる。
D	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある。

表：対象施設一覧表（スポーツ施設）

施設名	耐震	棟名	建築年	構造	階数	延床面積	状態
農村環境改善センター 帯の瀬ハイツ	有	生活研修室ほか	S58	RC	2/0	880.64 ㎡	B
	有	多目的ホール	S58	RC	2/0	372.01 ㎡	B
	有	バス車庫	S58	S	1/0	47.40 ㎡	B
豊田農産物加工施設	有	豊田農産物加工施設	H10	S	1/0	258.58 ㎡	B
豊田農業技術研修施設	有	豊田子育て支援センター	H3	RC	2/0	142.31 ㎡	B
豊田牧場	(未)	事務所	S56	S	1/0	29.64 ㎡	C
	(未)	畜舎 1	S48	S	1/0	389.34 ㎡	C
	(未)	畜舎 2	S49	S	2/0	917.42 ㎡	C
	(未)	畜舎 3	S50	S	2/0	902.76 ㎡	C
	(未)	畜舎 4	S50	S	1/0	81.76 ㎡	C
	有	畜舎 5	H2	S	1/0	292.74 ㎡	C
農機具保管施設（穴田）	有	農機具保管施設（穴田）	H15	S	1/0	26.40 ㎡	B
共同作業所（穴田）	有	共同作業場（穴田）	S59	S	2/0	799.49 ㎡	B
	有	オガ粉置場（穴田）	S59	S	1/0	550.60 ㎡	B
林内作業所（柳沢）	有	林内作業所（柳沢）	H12	W	1/0	13.24 ㎡	B
有害獣対策拠点施設	有	有害獣対策拠点施設	H2	W	1/0	63.76 ㎡	A

※(未)は、耐震診断未了の意

※延床面積は（R7.4）のもの

表：対象施設一覧表（商工業振興施設）

施設名	耐震	棟名	建築年	構造	階数	延床面積	状態
中野陣屋・県庁記念館	有	本館	S10	S	2/0	861.57 m <sup>2</sup>	A
	(未)	廊下	S10	W	1/0	19.04 m <sup>2</sup>	A
	(未)	土蔵資料館	S10	S	2/0	74.52 m <sup>2</sup>	B
豊田ふるさと交流館	有	食堂・売店ほか	H9	RC	1/0	755.74 m <sup>2</sup>	B
	有	農産物直売所	H26	W	1/0	172.24 m <sup>2</sup>	A
中野市関係人口創出拠点施設	有	本館	S50	W	2/0	202.20 m <sup>2</sup>	B
	有	蔵	不明	不明	1/0	20.43 m <sup>2</sup>	B
	(未)	車庫	S47	S	1/0	145.57 m <sup>2</sup>	B
中野地域職業訓練センター	有	実習棟	H12	S	2/0	515.72 m <sup>2</sup>	B
	有	訓練棟	H12	RC	2/0	1,097.92 m <sup>2</sup>	B

※(未)は、耐震診断未了の意

※延床面積は（R7.4）のもの

### 3 施設の管理運営に掛かる経費及び利用状況

表：管理運営経費情報一覧表（農林業振興施設）

施設名	歳入（千円）				歳出（千円）				
	補助金	使用料 手数料	その他	計	光熱 水費	維持 保全費	使用料 賃借料	人件費	計
農村環境改善センター帯の瀬ハイツ	0	9	0	9	0	11,301	1,301	2,726	15,328
豊田農産物加工施設	0	0	0	0	0	426	0	2,726	3,152
豊田農業技術研修施設	0	0	0	0	0	0	0	2,726	2,726
豊田牧場	0	0	0	0	0	0	0	2,726	2,726
農機具保管施設（穴田）	0	0	0	0	0	0	0	2,726	2,726
共同作業所（穴田）	0	0	0	0	0	0	0	2,726	2,726
林内作業所（柳沢）	0	0	0	0	0	6	0	546	546
有害獣対策拠点施設	0	0	0	0	61	0	0	546	607

※R4～R6年度のデータの平均値を使用しています。

表：管理運営経費情報一覧表（商工業振興施設）

施設名	歳入（千円）				歳出（千円）				
	補助金	使用料 手数料	その他	計	光熱 水費	維持 保全費	使用料 賃借料	人件費	計
中野陣屋・県庁記念館	0	0	4	4	1,155	181	201	480	2,018
豊田ふるさと交流館	0	0	0	0	0	4,210	0	1,022	5,232
中野市関係人口創出拠点施設	0	4,979	3,258	8,237	1,130	1,347	464	1,140	4,081
中野地域職業訓練センター	0	4,234	223	4,457	3,095	318	267	1,984	5,664

※R4～R6年度のデータの平均値を使用しています。

表：施設利用者情報一覧表（農林業振興施設）

施設名	年間開館日数	利用者数	稼働率	利用者1人 当たりコスト	床面積1㎡ 当たりコスト
農村環境改善センター帯の瀬ハイツ	311日	6,422人	85.2%	2,386円/人	11,790円/㎡
豊田農産物加工施設	243日	2,343人	66.5%	1,345円/人	12,189円/㎡
豊田農業技術研修施設	359日	-	100.0%	-	19,155円/㎡
豊田牧場	365日	-	100.0%	-	1,043円/㎡
農機具保管施設（穴田）	365日	-	100.0%	-	103,257円/㎡
共同作業所（穴田）	365日	-	100.0%	-	2,019円/㎡
林内作業所（柳沢）	365日	-	100.0%	-	41,238円/㎡
有害獣対策拠点施設	365日	-	100.0%	-	9,515円/㎡

※R4～R6年度のデータの平均値を使用しています。

※利用者数のデータが無い施設は稼働率を100%としています。

表：施設利用者情報一覧表（商工業振興施設）

施設名	年間開館日数	利用者数	稼働率	利用者1人 当たりコスト	床面積1㎡ 当たりコスト
中野陣屋・県庁記念館	310日	33,373人	85.0%	61円/人	2,113円/㎡
豊田ふるさと交流館	365日	186,191人	100.0%	27円/人	5,417円/㎡
中野市関係人口創出拠点施設	365日	5,752人	38.5%	709円/人	11,083円/㎡
中野地域職業訓練センター	359日	24,097人	86.9%	235円/人	3,512円/㎡

※R4～R6年度のデータの平均値を使用しています。

## 4 基本的な方針

農林業振興施設、商工業振興施設ともに、施設のあり方を考えていく必要があり、社会経済状況や市民ニーズの変化等を踏まえ、市が保有する必要性や利用者数が低下した施設は、管理運営方法の見直しや廃止を検討します。

## 5 「今後の方針」について

施設の方針を「機能（ソフト）」と「建物（ハード）」に分けて、それぞれ検討します。

各方針については、施設の健全度や施設機能、利用状況などを考慮しながら、今後の方針を設定します。

施設	方針	内容
機能 (ソフト)	現状維持	公共施設の機能として維持
	複合化	複数の機能を持つ施設に変更
	統合	同じ機能の施設を一つに集約
	廃止	公共による事業の終了
	転用	施設の機能を異なる機能に変更
	移転	施設の機能を他の施設に移転
	検討継続	施設のあり方の検討
建物 (ハード)	現状維持	施設を維持
	取壊し	施設を解体
	建替え・新設	施設を解体し、新たに建替え又は新設
	改修	施設の改修と修繕
	譲渡・貸付	施設を譲渡又は貸付
	返還	施設を所有者へ返還
	検討継続	施設のあり方の検討

表：公共施設の施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

施設類型	施設名	棟名	R7.3現在 延床面積	今後の方針		縮減面積	完了 予定	R8.3現在 延床面積	取組の内容
				機能	建物				
農林業 振興施設	農村環境改善センター帯の瀬ハイソ	生活研修室ほか	880.64㎡	現状維持	現状維持			880.64㎡	
		多目的ホール	372.01㎡	現状維持	現状維持			372.01㎡	
		バス車庫	47.40㎡	現状維持	現状維持			47.40㎡	
	豊田農産物加工施設	豊田農産物加工施設	258.58㎡	検討継続	検討継続			258.58㎡	あり方の検討
	豊田農業技術研修施設	豊田子育て支援センター	142.31㎡	現状維持	現状維持		-	142.31㎡	
	豊田牧場	事務所	29.64㎡	廃止	譲渡	29.64㎡	R8	29.64㎡	
		畜舎 1	389.34㎡	廃止	譲渡	389.34㎡		389.34㎡	
		畜舎 2	938.19㎡	廃止	譲渡	938.19㎡		938.19㎡	
		畜舎 3	902.76㎡	廃止	譲渡	902.76㎡		902.76㎡	
		畜舎 4	81.76㎡	廃止	譲渡	81.76㎡		81.76㎡	
	畜舎 5	292.74㎡	廃止	譲渡	292.74㎡	292.74㎡			
林内作業所（柳沢）	林内作業所（柳沢）	13.24㎡	廃止	取壊し	13.24㎡	R8	13.24㎡		
有害獣対策拠点施設	有害獣対策拠点施設	63.76㎡	現状維持	現状維持		-	63.76㎡		
商工業 振興施設	中野陣屋・県庁記念館	本館	861.57㎡	検討継続	検討継続		R10	861.57㎡	あり方の検討
		廊下	19.04㎡	検討継続	検討継続		R10	19.04㎡	
		土蔵資料館（倉庫）	74.52㎡	検討継続	検討継続		R10	74.52㎡	
	豊田ふるさと交流館	食堂・売店ほか	755.74㎡	現状維持	改修		R7	755.74㎡	
		農産物直売所	172.24㎡	現状維持	現状維持		-	172.24㎡	
	中野市関係人口創出拠点施設	本館	202.20㎡	検討継続	検討継続		R10	202.20㎡	あり方の検討
		蔵	20.43㎡	検討継続	検討継続		R10	20.43㎡	
		車庫	145.57㎡	検討継続	検討継続		R10	145.57㎡	
	中野地域職業訓練センター	実習棟	515.72㎡	現状維持	現状維持		-	515.72㎡	
訓練棟		1,097.92㎡	現状維持	現状維持		-	1,097.92㎡		

表：令和7年4月1日から令和8年3月末までに縮減（分類変え含む）した面積

施設類型	施設名	棟名	R7.3現在 延床面積	機能	建物	縮減面積	完了 予定	R8.3現在 延床面積	取組の内容
農林業 振興施設	農機具保管施設（穴田）	農機具保管施設（穴田）	26.40㎡	廃止	譲渡	26.40㎡	R7	0.00㎡	
		共同作業場（穴田）	799.49㎡	廃止	取壊し	799.49㎡	R7	0.00㎡	
	オガ粉置場（穴田）	550.60㎡	廃止	譲渡	550.60㎡	0.00㎡			

### 第3章 対策の優先度の考え方

#### 1 対策の優先度の考え方

個別施設の状態（施設の損傷及び部材や材料の劣化の状況やその要因等）の他、当該施設が果たしている役割、機能、重要性等を考慮し、対策の優先度を明確にします。ただし、優先度については、施設の今後の方針や施設状況、社会情勢から、総合的に判断しながら柔軟に対応します。

〔優先度の考え方〕

- ① 本計画 第2章 表：公共施設の施設類型ごとの管理に関する基本的な方針
- ② 施設の状態（第2章に記載）
- ③ 利用状況（第2章に記載）

## 2 対策の実施方法

本計画に基づき定期的に点検・診断、修繕を行い、施設の継続的な維持管理を実施するため、計画、実行、検証、改善のPDCAサイクルにより安全で快適な施設の維持管理に努めます。

## 第4章 対策内容と実施時期

### 1 対策内容の考え方

公共施設等の機能を維持するうえで必要となるメンテナンスは、施設の規模、設置環境、利用状況等によって大きく異なり、過度な対応は管理経費の増大を招き、過小な対応は機能の維持や利用者の安全確保に支障を来す可能性があります。

維持管理に当たっては、各施設の設置環境や利用状況を分析し、将来必要となる機能や、それを維持し続けるためのメンテナンスサイクルを構築するための管理基準として、今後も維持する公共施設については「中野市公共施設保全ガイドライン」に基づき、非木造施設は80年、木造施設は60年を目標使用年数として、定期的な点検、診断を実施し、計画的な維持補修によって長寿命化を推進します。

既存施設の更新に際しては、その施設のニーズを精査し、将来の負担を増やさないためにも必要な施設のみ更新をします。

構造別の目標使用年数

構造種別	目標使用年数
SRC(鉄骨鉄筋コンクリート造)、RC(鉄筋コンクリート造)、PC	80年
S(鉄骨造)、CB(コンクリートブロック)	80年
LS(軽量鉄骨造)、W(木造)	60年

## 2 対策の優先度

第3章の考え方を基本に、各施設の対策優先度を定め、順位の高い施設から必要な措置を講じます。

表：対策優先度一覧表（農林業振興施設）

優先度	施設名	実施内容
1	農村環境改善センター 帯の瀬ハイツ	建物の健全度が保たれており、点検等を実施し必要な修繕を行う。
2	豊田農業技術研修施設	建物の健全度が保たれており、点検等を実施し必要な修繕を行う。
3	豊田農産物加工施設	建物が健全であるため、維持保全を行い、劣化を防ぐ。
4	有害獣対策拠点施設	建物が健全であるため、維持保全を行い、劣化を防ぐ。
5	豊田牧場	令和8年度に譲渡の予定であるため、必要最低限の維持管理を行う。
6	林内作業所（柳沢）	令和8年度に取壊しを行う。

表：対策優先度一覧表（商工業振興施設）

優先度	施設名	実施内容
1	豊田ふるさと交流館	建物の健全度が保たれており、点検等を実施し必要な修繕を行う。
2	中野陣屋・県庁記念館	建物の健全度が保たれており、点検等を実施し必要な修繕を行う。
3	中野地域職業訓練センター	建物が健全であるため、維持保全を行い、劣化を防ぐ。
4	中野市関係人口創出拠点施設	建物が健全であるため、維持保全を行い、劣化を防ぐ。

## 3 対策費用

費用の算出については、第1次計画の数値を基礎としているが、近年の建設資材価格の高騰や労務費の上昇、施設の劣化状況の変化を反映させるため、その都度費用算出するものとする。